

# 社会参加推進センター会報

◆発行・編集  
〒732-0822

広島市障害者社会参加推進センター  
広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま5階  
広島市身体障害者福祉団体連合会内  
(TEL082-263-4524・FAX 082-263-9713)  
E-mail info@hiroshima-shishinren.or.jp  
ホームページ http://shishinren.com/

## 広島県立図書館 障害のある方へのサービス

広島県立図書館では、図書館に来館できない方への郵送による本・視聴覚資料の貸出し、視覚に障害がある方への「対面朗読」、「声の目録」(視聴覚資料の音声目録)の貸出し・配布を行っています。

これらのサービスを御利用いただくには、あらかじめ利用登録(図書館利用カードの発行)と各サービスの利用申込みが必要です。

申込方法は、来館、郵便、ファクシミリ、又は電子メールです。

### 郵送貸出し

#### 【利用できる方】

県内に在住又は通勤・通学している人の内、次に当てはまる方

- 1 身体障害者手帳(1~4級)、戦傷病者手帳(特別項症~第6項症)、療育手帳(A又はA)、精神障害者保健福祉手帳(1~2級)の方
- 2 病気療養中の方(※入院中の方等)、高齢の方身体等の障害(上記1以外)の方
- 3 1、2に掲げる方を介護している方

#### 【申込方法】

電話、ファクシミリ、電子メールなど資料名、ジャンル、著者などをリクエストしていただきます。

#### 【貸出点数】10点以内

#### 【貸出期間】郵送の期間を含めて30日以内

#### 【送料】

視覚に障害がある方は、視聴覚資料・点字資料は無料。

視覚に障害がある方以外は、一部、又は全額負担。金額は、手帳の種類・等級・貸出資料の種類などによります。

### 対面朗読

視覚やその他の障害により、活字による読書が困難な方に、当館所蔵の本や雑誌を朗読します。

館内の対面朗読室等で、職員又は登録ボランティアが1回2時間まで行います。

希望日の7日前までに、来館、電話などで予約していただきます。

### さまざまな資料

#### 【視聴覚資料】

CD、カセットテープ、DAISY図書(※1)など。文学、音楽、落語など各分野にわたり所蔵しています。

当館は「サピエ」(※2)会員です。視覚に障害がある方や活字による読書が困難な方は「サピエ」からDAISYデータなどの音声資料等をダウンロードして、貸出しできます。

#### 【点字資料】点字で書かれた本、雑誌

#### 【大活字本】

小さな字が読みにくい方のため、活字を大きく印刷した本

#### 【LLブック】

知的障害、自閉症、失語症、読み書き障害、聴覚障害がある人など読むことが難しい方に、読みやすく分かりやすく書かれた本

#### ※1 DAISY図書

通常CD-ROMに収録されているデジタル録音図書で、プレストーク等の専用プレイヤーか、パソコン(ソフト必要)で聞きます。

#### ※2 「サピエ」

活字による読書が困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データなどで提供するネットワークです。

### 調べ物や求める資料を探すお手伝い

調査・相談(レファレンス・サービス)担当職員が資料を探すお手伝いをします。

利用登録は必要ありません。

#### 【申込方法】来館、郵便、電話、ファクシミリ、電子メール

### 声の目録(視聴覚資料の紹介リスト)

当館所蔵の貸出できるCD・カセットテープ・DAISY<sup>ディジー</sup>を、音声等で紹介しています。

#### 【様式】カセットテープ版、DAISY版、点字版、墨字版<sup>ディジー</sup>

墨字版は広島県立図書館のホームページでダウンロードができます。(トップページ⇒利用案内⇒障害者サービス⇒声の目録)

#### 【内容】

タイトル・著者名・朗読者名・発行者名・内容・巻数・図書館の請求記号などを分野別・五十音順に収録

#### 【種類】

##### 1 累積版(カセットテープ)

昭和63年から平成4年までに受け入れた視聴覚資料を収録

##### 2 年度版

平成5年度から、各年度に受け入れた視聴覚資料を収録

・カセットテープ版(平成5年度版～)

・ディジー DAYSY版、点字版、及び墨字版(平成22年度版～)

※最新の年度版は配付もしています。

#### 【貸出し】来館又は郵送

【申込方法】来館、郵便、電話、ファクシミリ、電子メール

#### 【図書館で利用できる設備】

拡大読書器、ルーペ、老眼鏡、リーディングループ、プレストーク、筆談器、車いす、車いす対応トイレ

### 広島県立図書館

〒730-0052

広島市中区千田町三丁目7番47号

(広島県情報プラザ内)

電話：(082)241-4995(代表)

(082)241-4972(調査情報課)

## 広島市障害者ボッチャ大会

令和4年12月18日(日)広島市心身障害者福祉センターで、第3回広島市障害者ボッチャ大会が開催されました。

大会は座位10名、立位2名の計12名の選手が参加し、障害別のトーナメント形式で行われました。各コートでは真剣な眼差しでジャックボールにボールを投げたり転がしたりして距離を競い、投げるたびにあちこちから拍手やため息が起こっていました。

※ボッチャとは、ヨーロッパ生まれの重度脳性麻痺者や同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツです。

ジャックボール(白い目標球)に赤と青のそれぞれ6球ずつボールを投げていかに近づけるかを競います。ボールを投げられない人でも、自分の意思を競技アシスタントに伝え、補助具を使えば、競技に参加できます。



ボッチャ大会の開会式



ボッチャ競技の様子

## 2022 文化祭 ＝障害者週間記念事業＝

障害者週間の記念行事として、12月4日(日)に2022文化祭が広島市心身障害者福祉センターで開催され、来場者は延べ670名でした。

新型コロナウイルス感染拡大対策として、すべての来場者に健康チェック(検温・手指の消毒・来場記録表の記入)を実施しました。

今年は、3年ぶりに大体育館(パフォーマンス広場)での催しがあり、開会式では松井一實広島市長のご挨拶がありました。ステージでは利用団体・個人による合唱、演奏、ダンスなどの日頃の練習の成果を発表されました。

各階ではセンターの各種教室や利用団体・個人による作品展示やバザーが行われ、1階印刷室では手話体験、2階ボランティア室では点字体験ができました。

お楽しみ抽選会はコロナ対策のため見合わせとなりましたが、クイズラリーが館内4か所であり、たくさんの方々が楽しまれていました。2、3階の廊下では、センター主催のスポーツ教室や、文化教室などの行事の写真などが貼られており、熱心に見入っている方もおられました。

まだ、館内での飲食ができないため、少し寂しい部分もありましたが、久しぶりの賑やかな文化祭となりました。